

会派の意見

3月定例会を振り返って

自由民主党・無所属の会

3月議会では、平田文彦議員が代表質問に登壇し、経済対策、財政再建に向けた取り組み、高知市総合計画の見直しなどの9項目の質問を行い、それぞれに対し、市長並びに執行部から明確な答弁を引き出しました。厳しい財政状況の中にある本市にとって、市民生活の安定と地域経済の活性化に一定配慮された内容である一方、財政健全化は短期的な延命措置ではなく、将来にわたり、持続可能な基盤を築く必要があることを厳しく指摘しました。また約300項目の事務事業見直しによって確保した総額3億4千万円余りの財源は、執行部をはじめとした本市職員の実績の結果であり、高く評価し、今後の有効活用に期待します。

個人質問では、戸田二郎議員、横山公大議員、甲木良作議員、大田芳男議員が登壇し、多角的観点から質問を行いましたので、それぞれの報告をご覧ください。
閉会日には、令和8年度一般会計当初予算に対し会派を代表して

高橋裕忠議員が賛成討論を行い、市長の明確な理念の下に、子育てや福祉、防災、教育など、市民の皆さまが将来にわたり希望を持つて暮らせるまちづくりを目指した極めて実効性の高い予算であると評価しました。なお、今回提出された意見書・決議案に対しては全て反対を表明しています。これらはすでに国会で議論がされており、市政に直接的に反映するものではないとの判断です。

公明党

生命・生活・生存を守る予算

今議会は、令和8年度一般会計予算および令和7年度一般会計補正予算等について、わが会派では、過去最高額の予算について、代表質問・個人質問・委員会等で市民目線の審議を行った。

中でも本年秋に高知県で初開催される「よさこい高知文化祭2026」開催事業など、8年度予算が高知市の観光振興に寄与することを期待する。そして長浜小学校のプール事故を受けて策定した「小学校における水泳授業の安全管理マニュアル」の実効性確保と安全対策強化のため、資格を有した専門監視員配置を求めた。
また会派が産後ケア事業の拡充

として推進した、里帰り出産に係る償還払い制度の創設を評価する。

市民クラブ

住民福祉と市政運営について質問

第512回定例会の代表質問では、地方自治法第2条に基づく市政運営の判断原理と住民福祉の在り方を軸に、令和8年度当初予算案、事務事業見直し、公共施設マネジメント計画を中心に議論しました。加えて、学力向上と働き方改革、学校給食の負担軽減、地域通貨を使った物価高騰対策、消防

広域化、平和の日記念事業についても取り上げ、市民生活に直結する課題をただしました。
市民クラブは、本市の持続可能性と住民福祉の両立を重視した市政運営を求め、将来世代に過度な負担を先送りしない責任ある財政運営も強く求めてまいります。

日本共産党

市民への説明なき事務事業見直し予算は認められない

2026年度一般会計では、財源確保を理由に事務事業の見直し

が進められ、市民生活に直結する施策の廃止・縮小が含まれ、暮らしへの影響が懸念されます。市民の理解と納得を得ながら進めるべきところ、声を聴かない歪みと偏りが見られる予算に反対しました。

国保特別会計では子ども・子育て支援金に伴う保険料引き上げが行われるもので、反対しました。
提出した「イランをめぐる軍事行動の即時停止等を求める決議案」は否決となりましたが、「高額療養費制度の限度額引上げ撤回を求める意見書」は可決しました。

参政党

昨年の暮れからまとまった雨が降らず、久しぶりに節水が呼びかけられた。まさか、濁水が起きるなんて。世界の中の日本。この度のイラン有事だけではない。平和へのまさかは起こり得る。改めて国の守りについて考えさせられる。

さきがけ高知

春野公民館は建て替え不要

春野公民館は老朽化が顕著であることは認めるが、地区には15もの公民館があり、隣接してピアステージという立派なホール付き文化施設がある。代替施設で社会教育活動は十二分に行える。